

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名：青森県における帝王切開後試験分娩の実施状況調査

研究の目的：

近年、帝王切開による分娩率は全国的に上昇しています。帝王切開術による合併症は多く、更に前置癒着胎盤など次回以降の妊娠に影響することもあります。そのような合併症を少しでも減らすために、青森県内では周産期母子医療センター5 施設のうち 2 施設が帝王切開後試験分娩 (TOLAC)に取り組んでいます。これは、帝王切開の既往が 1 回のみで経膈分娩の希望がある妊婦に関して、妊婦健診時に子宮切開部位の薄さや児の子宮内の向き等を確認して、安全な経膈分娩を目指す方法です。

今回、私達は 2015 年から TOLAC を選択した妊婦および生まれてきた新生児に関して、重大な合併症がなかったか情報を収集し、TOLAC の有用性について検討することになりました。そして、今後もこの取り組みを継続していきたいと考えております。

研究実施期間： 令和 4 年 5 月 20 日 ～令和 4 年 12 月 31 日
(倫理委員会承認日)

対象となる方： 2015 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日までに研究施設で分娩された方の内、帝王切開の既往が 1 回ある方。

研究実施施設： 弘前大学医学部附属病院 青森県立中央病院

利用させていただきたい試料・情報について：

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報の内、妊娠・分娩時の情報(妊娠分娩歴、分娩週数、分娩時出血量、児の体重、臍帯動脈血液検査情報等)を利用させていただきます。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)行います。研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先：	産科婦人科 横山美奈子 0172-39-5107 mnk0704@hirosaki-u.ac.jp
---------------	---